

2026.

3

海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

静岡県企画部地域外交課



余何亭（ヨハジョン）と樹齢数百年の古木（韓国・忠清南道洪城郡）

東南アジア

天皇誕生日祝賀レセプションでのPR（インドネシア、マレーシア、シンガポール）
インドネシアの訪日旅行の傾向

中国

中国版「紅白歌合戦」で見せた中国ロボット技術の驚くべき進化
北京天皇誕生日レセプションで各国VIPに「静岡の食」をPR

韓国

新都市と歴史の息吹 忠清南道の道庁所在地・洪城郡
セミナーや天皇誕生日祝賀レセプションで本県をPR

台湾

日本のマーチングバンドが大人気 台湾版「紅白」にも登場

東南アジア駐在員報告

駐在員：村川 未帆

経 済

天皇誕生日祝賀レセプションでのPR（インドネシア、マレーシア、シンガポール）

各国の日本大使館では、天皇誕生日の2月23日前後に、政府関係者や各界要人等を招き、天皇誕生日祝賀レセプションを開催している。当事務所は今年度、インドネシア、マレーシア、シンガポールのレセプションに参加し、本県の観光情報や静岡茶をPRした。シンガポールでは、県産品の魅力発信の一環として、県内の地酒の試飲も実施した。

試飲では、2025年1月に御前崎の休眠蔵を引き継いで開業した新たな酒蔵（御殿場石川酒造）の日本酒を紹介した。日本酒人気の高いシンガポールでは、多くの来場者が本県ブースを訪れ、「ローカルフードにも合うすっきりした味わい」「富士山の雪解け水を使っているのが良い」「パッケージもおしゃれ」などと好評で、ストーリー性を持たせた発信により、競争の激しい現地市場でも展開できる可能性が示唆された。

当事務所は今後も、各国レセプション等の機会を活用し、観光と県産品を一体的にPRするとともに、現地関係者とのネットワークを通じて販路拡大を図りたい。



経 済

インドネシアの訪日旅行の傾向

2月上旬、ジャカルタ及び西ジャワ州へ出張の機会に、日本政府観光局（JNTO）と現地旅行会社から、訪日旅行に関するヒアリングを行い、西ジャワ州政府関係者から、レジャー客が多い理由や傾向について聞き取った。

JNTOによれば、2025年のインドネシアからの訪日者数は過去最多の約64万人を記録。富士山、食（和牛・寿司等）、桜、神社仏閣など写真映えするスポットが人気で、近年はドラマ・アニメ等の「聖地巡礼」も注目されている。インドネシアではサッカー人気も高く、サッカーアニメの聖地×静岡×富士山の組み合わせも有効と考えられる。

現在、インドネシアから日本への直行便は成田・羽田便のみで、行程はゴールデンルートが主流であることから、旅行会社へのセールスでは、東京から組み込みやすい静岡のモデルルートを提示することが重要だと感じた。心配な食事面は、厳格なハラール認証を求める層は多くない一方、イスラム教徒の規範に配慮した「ハラールフレンドリー」な店舗情報を求める声があり、情報の整備と提供が鍵となる。

西ジャワ州政府関係者からは、標高が高く涼しいバンドンは、週末になるとジャカルタからの来訪者で混雑し、キャンプや果物狩り、茶畑でのピクニックなど自然を楽しむ過ごし方が人気であるとの話があった。旅行会社からも屋外体験（キャンプ、グランピング等）の人気の示され、訪日旅行でも「自然体験」は訴求点になり得ると感じた。

今後は、富士山を軸に、茶、果物、キャンプ、サッカー等の県内資源を組み合わせたモデルルートと、ハラールフレンドリーな店舗の情報を併せて旅行会社へ提供し、誘客拡大に繋げていきたい。



中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

行政

中国版「紅白歌合戦」で見せた中国ロボット技術の驚くべき進化

中国では、2月16日から春節（旧正月）の大型休暇を迎えた。普段は都会で暮らす人々も2週間近く休暇をとって田舎に帰郷するのが一般的だが、最近では「夫の実家には帰りたくない」との妻の意向で帰郷を見送ったり、「実家に戻れば就職や結婚を急かされるので帰らない」と居残る若者が増えるなど、行動も多様化しつつある。それでも国内で交通機関の特別運行が行われる春運（2/2～3/13）には、延べ95億人が移動する中国人にとって最大の大型連休だ。

この春節に話題となったのが、日本の紅白歌合戦にあたる『春節聯歡晩会』だ。年越しの歌番組は20時からスタートし、北京の主会場のほか、浙江省（義烏市）、黒竜江省（ハルビン市）、安徽省（合肥市）など各都市を中継で結びながら祝祭感を伝えていく。番組の中で特に注目を集めたのが『武BOT』という現地の少年武術家とロボットによる演目だ。



中国のTV番組ではこれまでもロボットによる演出が見られたが、足踏みなど単純な動きが多かった。それが今回は、しなやかな動きで棒術・剣術・酔拳などを披露。これまでとは比較にならない複雑さで少年達と組み手を行い、現地では大きな話題となった。

日本では、対中関係の緊張化で観光インバウンド客の減少など目先の経済的な損失に注目が集まっているが、中国では、次世代産業で世界の主導権を握ろうと、圧倒的なスピードで技術開発が進んでいる。ぜひYouTubeで春節に話題となった最新のロボット技術をご覧ください。



CCTV 春晚 (YouTube 公式)

経済

北京天皇誕生日レセプションで各国VIPに「静岡の食」をPR

2月27日、中国事務所は在中国日本国大使館が開催した天皇誕生日祝賀レセプションに出展した。日中関係の緊張が高まっていることもあり、例年に比べて中国政府関係者の参加は少なかったものの、北京に大使館を構える各国関係者など約900名が来場し、会場は祝祭感に包まれた。

本県は県内企業と連携し、「静岡の食」をテーマに静岡県ブースを設置。来場者に本県の日本酒と鰻丼をふるまったほか、中国でのペット人気の高まりを受けて県内企業のペットフードを配布した。特に日本酒は「すっきりして飲みやすい」と大好評で、中国最大級のデパート「北京SKP」で販売していると伝えると「今から買いに行く！」との嬉しい声も聞かれた。中国事務所では、引き続き青島、上海、重慶で開催されるレセプションへの出展を予定しており、各地で影響力のあるVIPに向けたプロモーションを続けていく。



韓国駐在員報告

駐在員：石ヶ谷 彰英

行政

新都市と歴史の息吹。忠清南道の道庁所在地・洪城郡

静岡県と忠清南（チュンチョンナム）道の友好協定は2013（平成25）年4月に締結されているが、その前年に忠清南道において非常に大きな出来事があった。道庁移転である。

1896年に誕生した忠清南道は、最初、道庁を百済の首都があったことで知られる公州（コンジュ）に置いていたが、1932年に大田（テジョン）に移された。

大田はソウルと釜山（プサン）を結ぶ京釜（キョンブ）線と全羅（チョルラ）道に向かう湖南（ホナム）線が分岐する鉄道の要衝であり、日本統治下において発展した都市である。

大田は1989年に直轄市となり1995年に大田広域市に改称されるのだが、「道」と「広域市」はともに広域自治体であることから、道庁が広域市内に存置されている複数のケースにおいて、両者を地理的にも明確に分離することになった。このため忠清南道においても、これまで大田広域市内に置かれていた道庁を2012年末に新しい場所へ移転したのである。

現在、忠清南道庁は「内浦（ネポ）新都市」にある。内浦新都市は洪城（ホンソン）郡と禮山（イエサン）郡にまたがっており、職員の名刺によれば道庁の住所は洪城郡になる。

この洪城郡だが、首都圏一極集中が激しい韓国において2000年代には人口が減少傾向にあったものの、道庁移転で底をうち、現在10万人台を回復している。

大田広域市内からの道庁移転直後は、旧庁舎からバスに乗って新道庁まで結構な時間をかけて通勤していた職員が数多くいたそうだが、移転から十数年が経ち、高層アパートが立ち並ぶ新都市での生活を始める職員が増えているようだ。

24時間営業の食品スーパーは夜遅い時間でも賑わっており、ソウルで良く見かけるコーヒーショップもあって、道は広く便利で快適な郊外型の都市生活を享受できそうである。

一方、歴史的な風情をしっかりと保っているのは旧市街地である。現在、洪城郡庁舎が立つ付近はかつて邑城（ゆうじょう/ウプソン）と呼ばれる城壁で囲まれた地域であり、郡庁舎のすぐそばには牧使（モクサ）と呼ばれた地方行政官が執務した古い建物が残されている。

また、東西南北に建てられた門のうち、東門にあたる朝陽門（ジョヤンモン）がこの街の歴史を後世に伝えている。

ただし、人や経済の流れは旧市街地から外に向かっており、群庁舎の近くにあった小学校が内浦新都市へ移転するなど地域の姿は大きく変化している。

しかし、歴史ある街を整備し、地域の魅力を向上させようという取組も行っており、近年中に郡庁舎を移転して王朝時代の街並みを再現させるための跡地整備を計画している。

ソウルから洪城までの移動には時間がかかることもあり、打合せ等のために道庁を訪問しても旧市街地まで足を延ばすことはこれまであまりなかった。

それでも観光地化されていない歴史探訪に興味がある方には、お薦めできる街である。忠清南道の行政の中心として、ダイナミックな変貌を遂げ続ける内浦新都市と洪城郡。新旧が交差するこのまちで、発展の鼓動と静かな歴史の息吹を同時に感じてみてはいかがか。

台湾駐在員報告

駐在員：市川 美奈子

行政

セミナーや天皇誕生日祝賀レセプションで本県をPR

弊所では1月31日、台北市内の国際会議場で「静岡春セミナー」を開催した。主な参加者は日本への旅行に興味関心がある台湾人。弊所のFacebookで参加者を募ったところ、わずか1週間で300人を超える申し込みがあり、台湾の方の知識欲の高さに感銘を受けた。

セミナーでは、主に弊所Facebookの情報発信を担っているスタッフと、弊所の情報発信に協力いただいているインフルエンサーのBanbi氏が、「静岡県で春の旅行を楽しむ」というテーマに沿っておすすめスポットや季節限定グルメを紹介した。約2時間半の長丁場であったが、終了後も会場に残り弊所スタッフに質問をする人が後を絶たないほど盛況であった。



【静岡春セミナー】

2月9日と11日には日本台湾交流協会主催の「天皇誕生日祝賀レセプション」が台北と高雄で開催され、台北会場には約750人、高雄会場には約250人が来場した。弊所は静岡県ブースを出展し、本県の魅力をPRするとともに、県産日本酒やノンアルコール飲料などを提供した。ブースに足を運んでくださった方の多くは、台湾在住の日本人か、日本との縁が深い台湾人。ヨーロッパや東南アジアの政府機関の方も来られており、弊所の業務内容を紹介したところ興味を持ってくださった方が多かった。大学で日本語を教えているという台湾人の先生からは、ぜひ静岡県紹介講座を開催してほしいとの声をいただいた。

今後も、接点があった方とのご縁を大切にして、本県の魅力を発信していきたい。

【台北での天皇誕生日祝賀レセプション】



社会・時事

日本のマーチングバンドが大人気 台湾版「紅白」にも登場

台湾の今年の春節（新年）は2月17日。その前日である除夕（大晦日）の夜には、「WE ARE 我們的除夕夜（私たちの大晦日）」という、大晦日限定の歌番組が放送されるのが恒例となっている。日本の「紅白歌合戦」と同じような位置付けだ。

この番組に、日本のマーチングバンドが登場した。マーチングバンドの強豪、京都橘高校吹奏楽部だ。鮮やかなオレンジ色の衣装と、過酷な条件下の演奏でも常に笑顔を絶やさない強靱な精神力から「オレンジの悪魔」との異名がある。

台湾のNGOである中華文化總會から招請された同校が、台湾で初めてパフォーマンスを披露したのは2022年10月10日。海外の団体として史上初めて、台湾の国慶祝賀式典に参加した。その後も定期的に中華文化總會から招かれており、台北市内の若者の町である西門町などでパレード演奏を行っている。パレード演奏には3万人を超える見物客が押し寄せる。

高校生の明るく活発なパフォーマンスが日台友好の一翼を担っている好例といえるだろう。引き続き日台交流を盛り上げてくれるのが楽しみだ。

静岡県 海外駐在員事務所

●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(SOH02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	http://shizuoka.sg/		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	http://www.shizuokash.com		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区南大門路 117 東亜ビル 11 階 シェアオフィス「MOA」1106 号室		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	http://shizuokaseoul.com/ https://blog.naver.com/goshizuoka		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	http://www.shizuoka.org.tw/		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

<日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課
 住所：静岡市葵区追手町 9-6
 電話：054-221-2572 FAX：054-221-2542
 E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp